



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 堀田丸正株式会社

コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井澤 一守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (平成27年11月20日 開催予定 期間投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,242	△0.3	△71	—	△71	—	△79	—
27年3月期第2四半期	3,253	△36.5	△89	—	△76	—	138	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 △67百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 134百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△1.74	—
27年3月期第2四半期	3.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	4,742	—	2,937	—	62.0	—	64.03	—
27年3月期	5,122	—	3,097	—	60.5	—	67.49	—

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 2,937百万円 27年3月期 3,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,519	8.7	37	—	39	—	16	102.3	0.35

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	49,280,697 株	27年3月期	49,280,697 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	3,395,884 株	27年3月期	3,391,084 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	45,887,139 株	27年3月期2Q	45,891,190 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績の予想等の将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和政策を背景に、企業収益や雇用情勢に改善が見られるなど景気は緩やかな回復基調にあるものの、中国をはじめとする新興国の経済動向や原材料価格の高騰に伴う物価上昇など、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような事業環境のもと、当社は100%出資する株式会社吉利事業譲受準備会社を設立し、平成27年8月20日付で株式会社吉利より和装小物卸売事業を譲受しました。(事業譲受後、商号を「株式会社吉利」へ変更しております。)これまで事業の方向性として掲げてきた「卸から顧客創造」戦略を加速させるため、きものから和装小物までの商品供給力を一体化し、お客様への販売力と取引先様に対する提案力の強化に努めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高32億42百万円(前年同四半期比0.3%減)、営業損失は71百万円(前年同四半期は営業損失89百万円)、経常損失は71百万円(前年同四半期は経常損失76百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は79百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億38百万円)となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結累計期間より、株式会社吉利を和装事業に含めております。

和装事業は、既存事業の売上は低調に推移しましたが、事業譲受した株式会社吉利が寄与し、売上高は増加しました。百貨店閉鎖の影響や企画催事販売の低迷から売上総利益が減少し営業赤字となりました。この結果、売上高8億20百万円(前年同四半期比4.6%増)、営業損失は9百万円(前年同四半期は営業利益8百万円)となりました。

寝装事業は、専門店の売上不振が続きましたが、量販店販売に回復の兆しが見えギフト販売も順調に推移しました。営業利益は、利益率の改善が進まず減益となりました。この結果、売上高3億16百万円(前年同四半期比1.6%増)、営業利益は8百万円(前年同四半期比13.3%減)となりました。

洋装事業は、専門店や百貨店において節約志向の高まりから婦人洋品の販売が低調に推移し、営業損失が増加しました。この結果、売上高12億96百万円(前年同四半期比9.7%減)、営業損失は43百万円(前年同四半期は営業損失14百万円)となりました。

意匠襷糸事業は、中国市場では依然として国内向けの販売が順調に推移し、日本国内ではストレッチを中心とした高価格帯の糸が売上を伸ばしました。この結果、売上高8億6百万円(前年同四半期比12.0%増)、営業利益は29百万円(前年同四半期比37.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は36億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億69百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が3億55百万円減少したことによるものであります。固定資産は10億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が17百万円増加し、長期貸付金10百万円、破産更生債権等81百万円、貸倒引当金80百万円が減少したことによるものであります。

この結果、総資産は47億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億80百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は16億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億97百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が43百万円増加し、支払手形及び買掛金1億34百万円、電子記録債務が1億2百万円減少したことによるものであります。固定負債は1億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が25百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は18億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億21百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は29億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億59百万円減少いたしました。これは主に親会社に帰属する四半期純損失79百万円及び剰余金の配当91百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は62.0%(前連結会計年度末は60.5%)となりました。

②キャッシュフローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ3億55百万円減少し、6億30百万円となっております。これは主に税金等調整前四半期純損失、営業譲受による支出、配当金の支払い等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は、98百万円（前年同期は60百万円の減少）となりました。

これは主に売上債権の減少2億37百万円及びたな卸資産の減少42百万円はあったものの、仕入債務の減少2億39百万円及び税金等調整前四半期純損失71百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、1億81百万円（前年同期は52百万円の増加）となりました。

これは主に貸付金回収による収入12百万円はあったものの、営業譲受による支出2億円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、76百万円（前年同期は1億8百万円の減少）となりました。

これは主に短期借入金の増加43百万円はあったものの、配当金の支払額90百万円及び長期借入金の返済による支出26百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間までの業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に公表いたしました平成28年3月期の通期業績予想を修正いたします。

詳細につきましては、本日（平成27年11月13日）公表いたしました「第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、株式会社吉利を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	985,889	630,088
受取手形及び売掛金	1,364,539	1,370,354
電子記録債権	90,947	89,847
商品及び製品	1,459,324	1,421,254
仕掛品	23,035	20,605
原材料及び貯蔵品	51,469	70,563
前払費用	35,398	36,426
短期貸付金	24,515	24,515
未収入金	14,629	23,039
預け金	4,273	5,570
その他	6,404	12,698
貸倒引当金	△26,319	△40,455
流動資産合計	4,034,108	3,664,507
固定資産		
有形固定資産	576,269	571,203
無形固定資産	41,560	34,954
投資その他の資産		
投資有価証券	113,442	130,565
長期貸付金	95,845	84,924
敷金及び保証金	79,125	71,046
破産更生債権等	146,663	65,341
長期前払費用	13,672	16,995
その他	176,218	176,211
貸倒引当金	△154,165	△73,345
投資その他の資産合計	470,802	471,738
固定資産合計	1,088,632	1,077,896
資産合計	5,122,740	4,742,404

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	955,231	820,602
電子記録債務	353,385	250,451
短期借入金	240,000	283,500
1年内返済予定の長期借入金	51,439	50,591
リース債務	4,731	4,818
未払法人税等	28,375	15,312
未払消費税等	24,996	16,282
賞与引当金	10,000	3,930
返品調整引当金	13,495	40,465
前受金	2,814	-
その他	150,498	151,903
流動負債合計	1,834,967	1,637,858
固定負債		
長期借入金	116,704	91,168
長期未払金	40,611	39,151
リース債務	17,080	14,649
繰延税金負債	15,681	20,958
資産除去債務	627	629
固定負債合計	190,704	166,557
負債合計	2,025,672	1,804,415
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,070	1,975,070
資本剰余金	273,652	273,652
利益剰余金	980,096	808,420
自己株式	△188,787	△189,131
株主資本合計	3,040,031	2,868,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,339	43,423
為替換算調整勘定	24,696	26,554
その他の包括利益累計額合計	57,036	69,977
純資産合計	3,097,067	2,937,988
負債純資産合計	5,122,740	4,742,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,253,153	3,242,024
売上原価	2,210,113	2,205,852
売上総利益	1,043,039	1,036,171
販売費及び一般管理費	1,133,001	1,107,772
営業損失(△)	△89,961	△71,600
営業外収益		
受取利息	9,407	1,265
受取配当金	1,139	1,308
受取賃貸料	4,816	4,500
為替差益	2,190	—
還付消費税等	—	5,067
その他	4,663	867
営業外収益合計	22,217	13,009
営業外費用		
支払利息	3,680	2,757
手形売却損	1,107	1,014
為替差損	—	4,786
賃貸費用	3,043	3,283
その他	462	581
営業外費用合計	8,294	12,423
経常損失(△)	△76,038	△71,014
特別利益		
関係会社株式売却益	232,998	—
特別利益合計	232,998	—
特別損失		
有形固定資産除却損	1,012	—
その他	531	—
特別損失合計	1,544	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	155,415	△71,014
法人税、住民税及び事業税	17,952	8,902
法人税等調整額	△977	△20
法人税等合計	16,974	8,882
四半期純利益又は四半期純損失(△)	138,440	△79,896
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	138,440	△79,896

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	138,440	△79,896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	726	11,083
為替換算調整勘定	△4,308	1,857
その他の包括利益合計	△3,581	12,941
四半期包括利益	134,859	△66,955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,859	△66,955

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	155,415	△71,014
減価償却費	12,428	14,182
のれん償却額	11,746	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△42,354	271
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,160	△6,070
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△1,384	△3,029
受取利息及び受取配当金	△10,546	△2,574
支払利息	3,680	2,757
有形固定資産除却損	1,012	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△232,998	—
売上債権の増減額(△は増加)	172,074	237,174
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,847	42,720
仕入債務の増減額(△は減少)	△126,446	△239,852
長期未払金の増減額(△は減少)	△2,140	△1,460
その他	23,255	△49,039
小計	△52,262	△75,933
利息及び配当金の受取額	10,546	2,574
利息の支払額	△3,698	△2,876
法人税等の支払額	△14,761	△21,956
営業活動によるキャッシュ・フロー	△60,176	△98,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
担保預金の増減額(△は増加)	4,008	—
有形固定資産の取得による支出	△5,735	△741
無形固定資産の取得による支出	△2,279	—
投資有価証券の取得による支出	△733	—
ゴルフ会員権の売却による収入	1,475	—
関係会社株式の売却による収入	254,810	—
営業譲受による支出	—	△200,010
貸付けによる支出	△300,008	△1,325
貸付金の回収による収入	100,085	12,255
敷金の差入による支出	△6,973	△250
敷金の回収による収入	7,514	8,907
投資活動によるキャッシュ・フロー	52,163	△181,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	16,000	43,500
長期借入金の返済による支出	△32,903	△26,384
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△2,430
自己株式の取得による支出	△4	△344
配当金の支払額	△91,170	△90,964
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,078	△76,623
現金及び現金同等物に係る換算差額	△592	179
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△116,683	△355,800
現金及び現金同等物の期首残高	495,570	985,889
現金及び現金同等物の四半期末残高	378,886	630,088

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事 業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	784,621	311,277	1,435,209	719,595	3,250,703	2,450	3,253,153	—	3,253,153
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	13,800	13,800	△13,800	—
計	784,621	311,277	1,435,209	719,595	3,250,703	16,250	3,266,953	△13,800	3,253,153
セグメント利益(又はセグメ ント損失(△))	8,771	9,916	△14,373	21,146	25,461	2,928	28,390	△118,351	△89,961

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業及びブランドデザイン企画業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△118,351千円には、セグメント間取引消去6,372千円、のれん償却額11,746千円、各報告セグメントに配分していない全社費用112,977千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	和装事業	寝装事業	洋装事業	意匠燃糸事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	820,423	316,340	1,296,691	806,119	3,239,574	2,450	3,242,024	—	3,242,024
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	13,800	13,800	△13,800	—
計	820,423	316,340	1,296,691	806,119	3,239,574	16,250	3,255,824	△13,800	3,242,024
セグメント利益(又はセグメント損失(△))	△9,135	8,595	△43,106	29,113	△14,532	1,597	△12,935	△58,664	△71,600

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業及びブランドデザイン企画業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△58,664千円には、セグメント間取引消去△2,510千円、各報告セグメントに配分していない全社費用61,175千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間より、株式会社吉利を「和装事業」に含めております。